

平成19年度海外派遣教員壮行会

平成19年3月3日(土) 岡山アークホテルで4月から派遣される先生方の壮行会を開きました。



まず、神田進会長のあいさつです。

「全国各地から集まった先生方と、力を合わせて学校を作っていってほしい。また、日本人会の中でも仲良くして参加してほしい。おらかな心と、一緒になって仕事をするという細やかな心をもってがんばってほしい。赴任地からの便りや写真を、ぜひ送ってもらって、私たちにも勉強をさせてほしい。」



苅田治校長は、津山市立院庄小学校からコロンボ日本人学校に派遣されます。これが2回目の派遣で前回はブラジルでした。コロンボは赤道近くで、人口密度は日本と同じです。インターネットで世界中が身近になってはいますがそれでも現地に行かないと分からない点もあると思うので、情報を伝えていきたいし、帰国してからも、国際理解教育に貢献していきたいです。現地ではカレーが味噌汁のようなものらしいので、しっかり食べて、作り方を紹介したいです。



山本義人教頭は、岡山市立灘崎中学校からリマ日本人学校に派遣されます。ペルーは世界の気候が全て集まっているといわれ、熱帯ジャングル、砂漠、高地海岸と変化に富んでいます。リマは、海岸沿いの800万人の大都市です。海流の影響で過ごしやすい気温ですが、霧が多いのも有名です。児童生徒50名の小規模校のため、教頭も小学2年生から6年生までの書写と家庭科、中学の技術と美術を受け持つことになり、直接子ども達とふれ合えるのを楽しみにしています。



小林真帆先生は、岡山市立南輝小学校からハノイ日本人学校に派遣されます。即派遣のため、今は荷造りで大変です。ベトナムは四季があって治安も良く、親日と聞いているので、健康に気を付けてがんばってきたいということでした。



三宅貴恵先生は、倉敷市立上成小学校から、ジョホール日本人学校に派遣されます。担当教科は中学の国語ですが、異校種交流で小学校で勤務していました。早速ジョホールのことを調べていると、洪水のニュースが流れていて、心配しています。できれば高層マンションをお願いしたいですが、また情報をお伝えします。現地では、みんなと仲良く健康に注意して頑張ります。

今田雅彰先生は、倉敷市東中学校から、クアラルンプール日本人学校に派遣されます。担当教科は中学の理科で、日本との違いを教えていきたいそうです。吹奏楽も得意で、クラリネットが専門です。2歳のお子さんも連れて、家族がみんな元気に3年間をがんばりたいということでした。



藤井小百合先生は、笠岡市立白石中学校から広州日本人学校に派遣されます。来年度は、300人の全校生徒が、一気に100人も増えるそうです。自動車の企業を中心に大きく発展しているようです。白石島は、過疎地で生徒数14人の小規模校だったため、そのギャップに早く対応していかなければならないと考えています。広東料理はおいしくて、太りすぎないように気を付けたいとお話されました。



全員で30名の壮行会でしたが、顧問の藤井昭平先生、参与の片山主計先生、成石壽之先生、赤松康弘先生から励ましのお言葉をいただき、なごやかな中にも、岡山県の代表として活躍してほしいという期待を担っての会となりました。6月2日の第一土曜には帰国者歓迎会が同じ会場で開かれます。国際理解教育研究会会員の皆様はぜひご都合をつけて参加してください。

